

2級の漢字-10

楽器	<sup>えんそう</sup> 楽器を演奏する。		がつき
活動	<sup>じゅうぶやす</sup> 十分休んだ。そろそろ <b>活動</b> を開始しよう！		かつどう
家庭	<sup>まず</sup> <sup>そだ</sup> 貧しい <b>家庭</b> に育つ。		かてい
角	<sup>すしや</sup> 角にお寿司屋さんがある。		かど
悲しい	<sup>し</sup> 悲しい知らせ。		かな(しい)
試合	<sup>かいし</sup> サッカーの <b>試合</b> を開始する。		しあい
必ず	<sup>しごと</sup> この仕事は <b>必ず</b> 最後までやり遂げたい。		かなら(ず)
可能 不可能	<sup>かのう</sup> 不可能じゃない。きみなら可能だよ。		ふかのう
水泳	<sup>ぼく</sup> <sup>とくい</sup> 僕は <b>水泳</b> が得意だ。		すいえい
紙袋	<sup>べんとう</sup> お弁当を <b>紙袋</b> に入れる。		かみぶくろ
出勤	<sup>あさはや</sup> 朝早く <b>出勤</b> する。		しゅっきん
軽い	<sup>ちゅうしょく</sup> 軽い <b>昼食</b> をとる。		かる(い)
職場	<sup>にんげんかんけい</sup> <sup>りょうこう</sup> <b>職場</b> の人間関係はたいへん良好である。		しょくば
彼	<sup>べんごし</sup> 彼は <b>弁護士</b> だ。		かれ
普段	<b>普段</b> 着ている服を着て出かける。		ふだん
枯れる	<sup>かびん</sup> <sup>ばら</sup> 花瓶の <b>薔薇</b> が <b>枯</b> れる。		か(れる)
乾く	<sup>ふゆ</sup> <sup>くちびる</sup> 冬は唇が <b>乾</b> く。		かわ(く)
革靴	<sup>ちやいろ</sup> 茶色の <b>革靴</b> を買う。		かわぐつ
武器	<sup>も</sup> <sup>せんじょう</sup> <sup>い</sup> <b>武器</b> を持って戦場に行く。		ぶき
代わる	<sup>ちち</sup> <sup>かい</sup> <sup>しゅっせき</sup> 父に <b>代</b> わって会に出席する。		か(わる)
病院	<sup>にゅういん</sup> <b>病院</b> に入院する。		びょういん
換気	<sup>へや</sup> 部屋の <b>換気</b> をしなかったら空気が悪くなっ た。		かんき
末	<sup>かんが</sup> <sup>けつだん</sup> よく考えた <b>末</b> 決断したことだ。		すえ
関係	<sup>じけん</sup> この事件はどうやらAさんと <b>関係</b> があるらしい。		かんけい
三泊四日	<sup>りょうこう</sup> <sup>い</sup> <b>三泊四日</b> の旅行に行く。		さんぱくよっか
歓迎	<sup>しんにゅうせい</sup> 新入生の <b>歓迎</b> パーティーをする。		かんげい
観光	ヨーロッパを <b>観光</b> してまわる。		かんこう

洗濯	洗濯物 <sup>ほ</sup> を干す。		せんたくもの
感謝	感謝 <sup>きも あらわ</sup> の気持ちを表す。		かんしゃ
患者	患者 <sup>か</sup> のカルテを書く。		かんじゃ
並ぶ	二列に並 <sup>にれつ</sup> んでください。		なら(ぶ)
感情	感情的 <sup>かんじょう</sup> になってしまった。		かんじょうてき
中央	その城は町の中央 <sup>しろ まち た</sup> に建っていた。		ちゅうおう
感じる	胸 <sup>むね</sup> に痛みを感 <sup>いた</sup> じる。		かん(じる)
深い	そっちに行く <sup>い うみ</sup> と海は深 <sup>い</sup> くなっている <sup>きけん</sup> ので危険だ。		ふかい
関する	山に <sup>やま</sup> 関 <sup>ほん</sup> する本をたくさん買 <sup>か</sup> った。		かん(する)
完成	作 <sup>つく</sup> っていた模型 <sup>モケイ</sup> の船 <sup>フネ</sup> がつい <sup>い</sup> に完成 <sup>せい</sup> した。		かんせい
場合	この場合 <sup>ばい</sup> ははっきりと言 <sup>い</sup> ったほうがいいでしょう。		ばあい
乾燥	乾燥 <sup>くわうき</sup> した空 <sup>なが</sup> 気が流 <sup>なが</sup> れてくる。		かんそう
感想	この本 <sup>ほん</sup> を讀 <sup>よ</sup> んで感想 <sup>かんさう</sup> 文 <sup>ぶん</sup> を書 <sup>か</sup> いてください。		かんさう
運	きょうは運 <sup>うん</sup> がいい。また景品 <sup>けいひん</sup> があ <sup>あ</sup> 当たった！		うん
観測	気象 <sup>キショウ</sup> 観測 <sup>かんそく</sup> デー <sup>デー</sup> ターを調 <sup>しら</sup> べる。		かんそく
感動	すばらしい音楽 <sup>おんがく</sup> に感 <sup>かん</sup> 動 <sup>どう</sup> する。		かんだう
十分	キャンプ場 <sup>じょう</sup> には十分 <sup>じゅうぶん</sup> な数 <sup>かず</sup> の毛布 <sup>もうふ</sup> があ <sup>あ</sup> った。		じゅうぶん
乾杯	ごくろうさまでした。乾杯 <sup>かんぱい</sup> ！！		かんぱい
看板	看板 <sup>かんばん</sup> の字 <sup>じ</sup> が読 <sup>よ</sup> めるようになって嬉 <sup>うれ</sup> しい。		かんばん
必要	旅行 <sup>りょこう</sup> に必要 <sup>ひつよう</sup> な物 <sup>もの</sup> を買 <sup>か</sup> う。		ひつよう
進歩	人類 <sup>じんるい</sup> の進 <sup>しん</sup> 歩 <sup>ぽ</sup> のために科学 <sup>かがく</sup> 技術 <sup>ぎじゆつ</sup> は役 <sup>やく</sup> に立 <sup>た</sup> っている。		しんぽ
管理	商品 <sup>しょうひん</sup> の管 <sup>かん</sup> 理 <sup>り</sup> を任 <sup>まか</sup> される。		かんり
完了	パスポート更 <sup>こうしん</sup> 新 <sup>てつづ</sup> の手 <sup>て</sup> 続 <sup>つづ</sup> きが完 <sup>かん</sup> 了 <sup>りょう</sup> する。		かんりょう